

**【報告】「横須賀市みどりの基本計画の改定について」に対する
パブリックコメント手続きの結果と対応について**

1. 意見募集期間

令和7年（2025）年10月10日（金）～10月31日（金）

2. 意見の提出者数及び意見の件数

■意見の提出者数 1 名 ■意見の件数 52 件

3. 意見に基づく対応

対 応 内 容	件数
本案の中で追記・修正するもの	6 件
次期計画改定の参考とするもの	0 件
今後の参考とするもの	15 件
すでに対応している等により、追記・修正を要さないもの	31 件
合 計	52 件

追記・修正する意見と対応

ご意見			対応
章	頁	概要	
1	7	7 ページの写真において、機能表題だけでなく、この写真が意味することを簡単にコメントできないか。	7 ページの写真は6 ページに記載している機能の補足として掲載しているため、ここでは機能のみの記載としています。なお、写真の説明（機能）については6 ページの記述に合わせた表記にします。
1	8	8 ページのグリーンインフラについて、ここに書かれる意味が分からない。	6 ページにてみどりの様々な機能を説明しており、これらの機能を活かすことがグリーンインフラであると捉えているため、当該ページに記載しています。ご指摘を踏まえ、上記の旨を追記します。
2	15	横須賀市都市計画マスタープランでは、「拠点ネットワーク型都市づくり」という方向性は記載されていないが、両計画の整合性は図られているのか。	ご指摘を踏まえ、現行の横須賀市都市計画マスタープランと整合を図った表記に修正します。
2	16	16 ページの市民意識において、経年変化でどうなっているか述べられていると良い。	ご指摘を踏まえ、前回のアンケート実施時から自然環境への満足度が高い旨追記します。
3	47	47 ページの都市域の中に、社寺林、街路樹についての項目を掲げたらどうか。	社寺林や街路樹は住宅地や都市域の点在するみどりに含まれると考えています。ご指摘を踏まえ、点在するみどりに社寺林、街路樹を追記します。
4	69	69 ページの取組内容で都市公園の機能の再編、集約において (1) モデル地区として湘南鷹取地区を設定した理由はなにか。 (2) 「多様なニーズを把握し、公園機能の再編集約を図ります」では、具体的にどの公園が対象となるのか。	(1) この地区は、大規模開発行為により、誘致距離を考慮して公園が配置された結果、公園の機能の重複が見受けられます。こうしたことから、機能再編の効果が得られやすいと判断し、モデル地区に選定しました。なお、他の候補地についても現在検討中ですが、機能の重複の程度や地区の特性などを総合的に判断して選定してまいります。 (2) ご指摘を踏まえ、対象となる公園の一例を追記しました。



生態系保全機能



健康増進機能(久里浜1丁目公園)



延焼防止機能

(出典：公益財団法人地球環境戦略研究機関
国際生態学センター、消防庁消防研究センター)



景観向上機能(よこすか海岸通りの街路樹)

(ご意見)

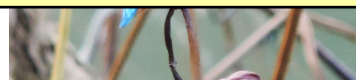
7 ページの写真において、機能表題だけでなく、この写真が意味することを簡単にコメントできないか。

(回答)

7 ページの写真は6 ページに記載している機能の補足として掲載しているため、ここでは機能のみの記載としています。なお、写真の説明(機能)については6 ページの記述に合わせた表記にします。

の車両が設計されたり、蚊の口吻をヒントに痛くない注射針が開発されたりしています。

このように、工学、材料科学、医学など様々な分野でバイオミメティクスが取り入れられています。



○グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード、ソフト両面において、**前述のみどりが持つ様々な機能を活用し**、持続可能で魅力ある国土や都市、地域づくりを進めていくことをグリーンインフラストラクチャ（以下、グリーンインフラ）と言います。

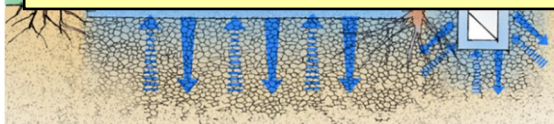
グリーンインフラの特徴と意義として、施設や空間そのものが多様な機能を有することを示す「機能の多様性」、地域住民との協働や民間企業との連携により、多様な主体が維持管理等に関与することを示す「多様な主体の参画」、自然環境の変化などにより新たな機能を発揮することを示す「時間の経過とともにその機能を発揮する（「成長する」または「育てる」インフラ）」といった3つの点が挙げられます（グリーンインフラ推進戦略の概要（令和元年7月）/国土交通省より抜粋）。

（ご意見）

8ページのグリーンインフラについて、ここに書かれる意味が分からない。

（回答）

6ページにてみどりの様々な機能を説明しており、これらの機能を活かすことがグリーンインフラであると捉えているため、当該ページに記載しています。ご指摘を踏まえ、上記の旨を追記します。



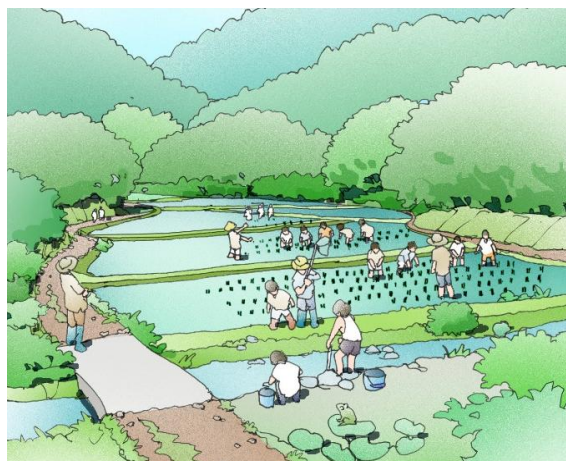
雨水の浸透による減災、気温上昇の抑制



樹林地の維持管理による防災、減災、
防風などの森林機能の向上



自然の中での運動及び憩いの場の提供に
よる健康の増進やストレスの緩和



里山環境の保全、活用による生物多様性の
確保や雨水貯留機能の向上

グリーンインフラの例

「横須賀市都市計画マスタープラン（2025～2035）」では、みどりは自然との交流拠点や都市の景観を構成する大きな要素と示されています。

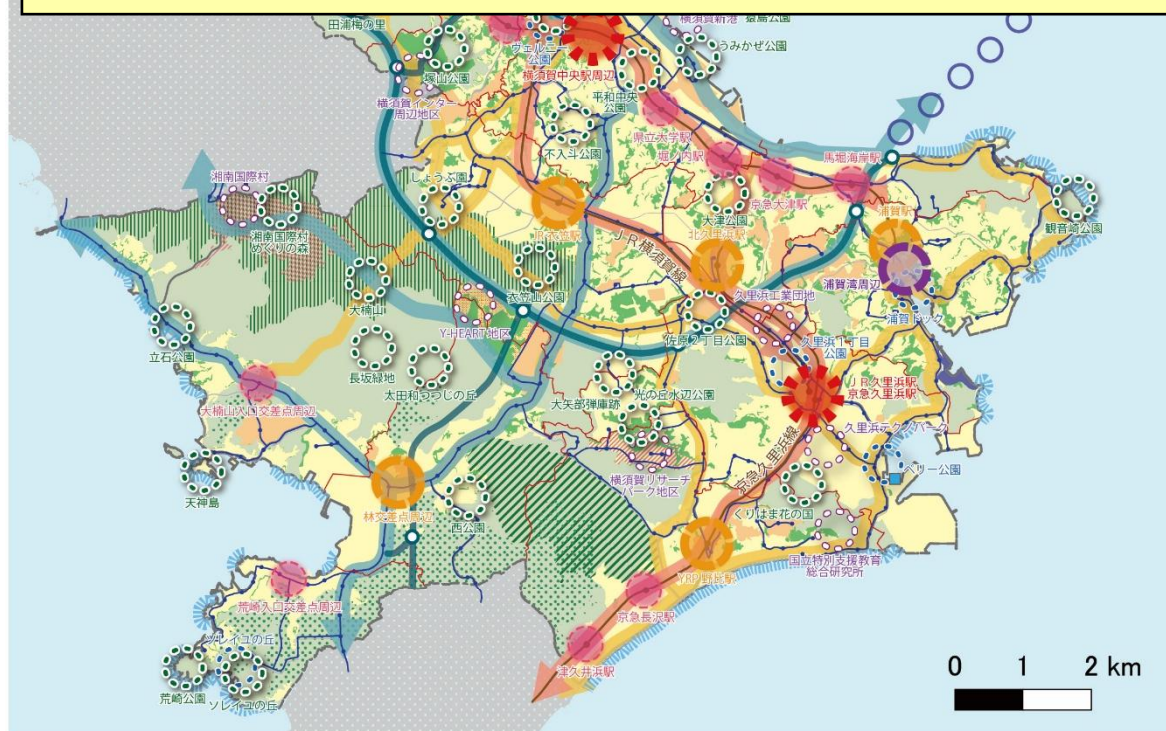
また、みどりが各拠点に隣接して位置することから地域拠点や魅力活用、創造拠点と連携して、みどりの機能を発揮していくことが求められています。

（ご意見）

横須賀市都市計画マスタープランでは、「拠点ネットワーク型都市づくり」という方向性は記載されていないが、両計画の整合性は図られているのか。

（回答）

ご指摘を踏まえ、現行の横須賀市都市計画マスタープランと整合を図った表記に修正します。



凡例

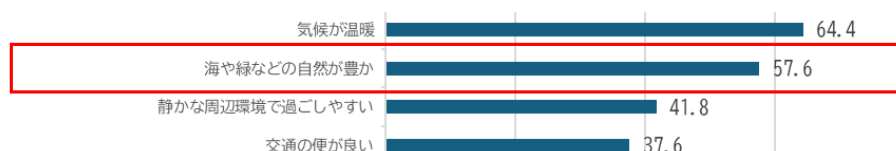
<境界・交通等>	<拠点>	<軸>	<ゾーン>
行政界	都市拠点	基幹的な公共交通軸（鉄道）	市街化ゾーン（市街化区域）
市街化調整区域	魅力活用・創造拠点	主軸・縦軸幹線道路	計画的なまちづくりゾーン（臨港地区：見直し）
生活圏（12地区）	地域拠点	横軸幹線道路	計画的なまちづくりゾーン（地区計画：整備済み）
近隣市町	地区の生活拠点	新たな交通軸（構想道路）	計画的なまちづくりゾーン（地区計画：未着手）
海	自然との交流拠点		計画的なまちづくりゾーン（地区計画：変更予定）
高速道路・インターチェンジ	研究開発・産業・文化等の交流拠点		海辺の交流ゾーン（自然海岸・半自然海岸）
国道	歴史・観光等の交流拠点		農業環境保全・活用ゾーン（農業振興地域）
県道			緑地保全・活用ゾーン（首都圏近郊緑地保全地区・風致地区）
市道			谷戸ゾーン（斜面緑地）
鉄道路線・駅			
バス路線・バス停留所			
フェリー乗り場			

将来都市構造図

(4) 市民意識

本市に住み続けると選択した市民のうち、約 58%が「海や緑などの自然が豊か」であることを理由に選んでいます。また、生活における様々な分野のうち、自然環境分野の満足度が最も高くなっています。**自然環境の満足度は、同様のアンケートを実施した令和2年度に続き、高い度合いとなっています。**

問 横須賀市に「住み続ける」「たぶん住み続ける」を選んだ理由としてあてはまるものを選んでください。

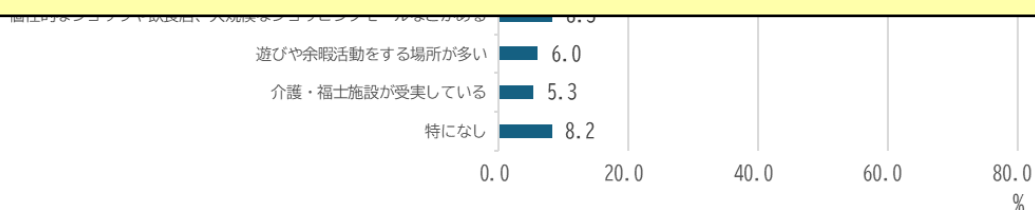


(ご意見)

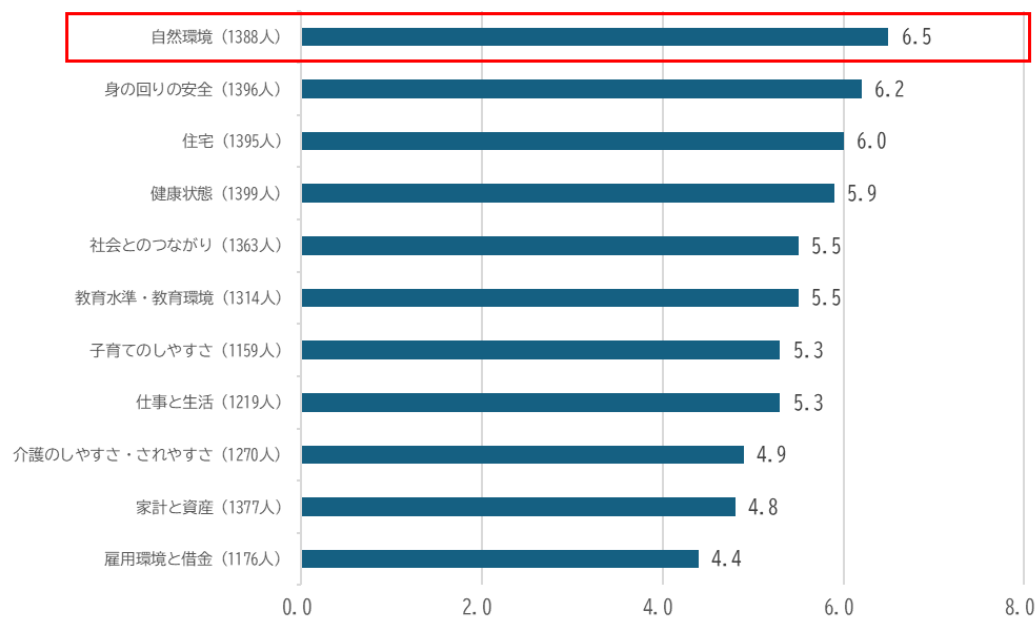
16 ページの市民意識において、経年変化でどうなっているか述べられていると良い。

(回答)

ご指摘を踏まえ、前回のアンケート実施時から自然環境への満足度が高い旨追記します。



問 あなたは、以下の、生活に関するさまざまな分野における満足の度合いについて、「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。



(出典：令和4年度横須賀市民アンケート報告書)

横須賀市の空間的特徴



【農地・里山】

■農地・里山の機能

- ・食卓を支える農産物(よこすか野菜など)の生産場所です。
- ・雨水を溜め、地下に水を浸透させることで、健全な水循環を保ちます。
- ・農地利用や里山の利活用により、土壌の流出が抑えられます。
- ・農地、里山を生かした環境教育の場となり、自然にふれる機会を提供します。
- ・丘陵地に広がる農地、里山の風景は横須賀らしい魅力の一つです。
- ・まとまりあるみどりが残っていることで、多様な生きものの棲み処となります。

■求められる活動

- ・稲作や「よこすか野菜」の農作の推進、継続
- ・里山の定期的な手入れ(草刈り、枝払い)
- ・動植物のモニタリング、外来生物の除去
- ・市民向けの観察会や体験イベントの開催

【樹林地】

■樹林地の機能

- ・健全な水循環が保たれることで、水資源が供給されます。
- ・気温を調整し、空気中の二酸化炭素などを吸収します。
- ・植生が雨水をため、地下に浸透させることで、土壌の流出が抑制されます。
- ・環境教育や活動の場となり、自然にふれる機会を提供します。
- ・まとまりある緑や貴重な自然環境が残っていることで、生きものの棲み処となります。

■求められる活動

- ・樹林地の定期的な手入れ(枝払い、倒木の恐れのある木の伐採、植樹、下草刈り)
- ・動植物のモニタリング
- ・市民向けの観察会や体験イベントの開催

【住宅地】

■住宅地のみどりの機能

- ・気温を調整し、空気中の二酸化炭素などを吸収します。
- ・植生が雨水をため、地下に浸透させることで、健全な水循環が保たれ、住宅等への浸水が抑制されます。
- ・住宅地の公園などのオープンスペースは市民の憩いの場にもなります。
- ・街路樹や社寺林等の点在するみどりは生きもののすみかや移動経路となります

【都市域】

■都市域のみどりの機能

- ・気温を調整し、空気中の二酸化炭素などを吸収します。
- ・植生が雨水をため、地下に浸透させることで、健全な水循環が保たれ、建物等への浸水が抑制されます。
- ・公園などのオープンスペースは市民の憩いの場にもなります。
- ・街路樹や社寺林等の点在するみどりは生きもののすみかや移動経路となります

【海岸域】

■海岸域の機能

- ・食卓や経済を支える水産物が獲れます。
- ・自然的な海岸は美しい景観を形成し、観光資源としても地域に貢献しています。
- ・自然的な海岸や小田和湾には干潟が残されており、貴重な海岸植物や水生生物の棲み処となっています。
- ・貝塚や親水護岸は水生生物の棲み処となっています。
- ・藻場は、炭素固定の場として貢献しています。

■求められる活動

- ・海岸の定期的な清掃
- ・藻場などの植え付け
- ・イベント開催等による観光資源としての活用

(ご意見)

47ページの都市域の中に、社寺林、街路樹についての項目を掲げたらどうか。

(回答)

社寺林や街路樹は住宅地や都市域の点在するみどりに含まれると考えています。ご指摘を踏まえ、点在するみどりに社寺林、街路樹を追記します。

【都市公園】

<自然環境を保全する公園>

■生態系サービス(生息)

市内に点在する公園のみどりは生きものの棲み処や移動経路となり、生態系ネットワークの形成につながる。

■求められる活動

- ・公園の緑の定期的な除草や植え付け、植樹
- ・動植物のモニタリング

公園のようなオープンスペースは市民の憩いの場となり、自然に触れる機会や運動機会の増加につながる。

- ・環境教育機会を提供する観察会等の開催
- ・その他イベント開催や定期的な活動等による公園の積極的な活用

基本方針2：魅力ある公園づくり

【重点施策】

《2-1》地域ニーズをふまえた公園機能の再編

○新規事業 ○実施主体：市 ○関連者：市民等

●方針と目標

(ご意見)
公園機能の再編集約では、具体的にどの公園が対象となるのか。
(回答)
ご指摘を踏まえ、対象となる公園の一例を追記しました。



●取組み内容

- ・ 湘南鷹取地区（鷹取小学校区）をモデル地区に設定し、公園利用状況や地域ニーズを考慮した公園機能の再編、集約
- ・ 各地区の学区における公園の機能やニーズの調査
- ・ 公園プール跡地等の公園機能の再編（富浦公園、鷹取公園等）

○担当部署：建設部

公園機能の再編の考え方

- ・ 本市の都市公園は、公園の誘致距離による均等配分を重視して整備した結果、公園施設や機能の重複がみられる。しかし、都市公園ごとに求められるニーズが異なることから、地域ニーズをふまえた公園機能の再編を推進する。
- ・ 一定の地域（町内会等）において、老朽化により整備が必要となる公園が複数存在する場合や、個別の公園施設の改廃等に伴い区域を一体とする場合に、公園機能の再編の検討を行う。

<現状>



<再編後>



(5) めざすみどりの将来像

1) まとまりのあるみどりの保全・活用

鷹取山、田浦梅の里、県立塚山公園を中心とした丘陵部の骨格となるみどりは、適切に保全するとともに、みどりが持つ機能をより発揮できるようにします。また、都市公園などのみどりの拠点は、必要に応じて市民がみどりに親しめる場として活用手法を検討します。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	------------------------------------------

2 (ご意見) 公園機能の再編集約では、具体的にどの公園が対象となるのか。

(回答)
ご指摘を踏まえ、対象となる公園の一例を追記しました。

主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用 など
------	---------------------------------------

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

プロスポーツチームと連携した追浜公園のほか、田浦梅の里やヴェルニー公園など多くの都市公園があります。また、田浦梅林まつり、三浦按針祭観桜会など、都市公園等では市内外から多くの人々が訪れるイベントが開催されています。これらみどりの拠点の充実及び適切な維持管理を行います。さらに、湘南鷹取地区の公園（**湘南鷹取1丁目公園、鷹取公園等**）では、多様なニーズを把握し、公園機能の再編、集約を図ります。

主な施策	《2-1》地域ニーズをふまえた公園機能の再整備、 《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理 など
------	--------------------------------------------------------------

4) まちなかのみどりの保全・創出

東京湾側に広がっている市街地や工業地域では、ヒートアイランド現象がみられるため、まちなかのみどりの創出と機能の向上を目指し、快適環境の形成を目指します。ゾーン内に点在する斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	-------------------------------------------------

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

鷹取山公園では、観察会をはじめとした環境教育など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している「鷹取山自然観察会」などの団体の支援を推進します。

主な施策	《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	----------------------------

6) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

丘陵部のみどりは隣接する横浜市、逗子市、葉山町から連なって広がっています。これらを含む本市のみどりを保全するため、県及び隣接市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------